

# 令和4年度 学校給食・食生活に関するアンケート調査結果

## 1. 調査実施期間

令和4年12月1日～23日までの一日間

## 2. 調査対象

小学校5・6年

学校名	恵庭	島松	柏	和光	松恵	若草	恵み野	恵み野旭	合計
人数(名)	211	96	127	163	30	169	40	113	949

中学校1・2年

学校名	恵庭	恵北	恵明	柏陽	恵み野	合計
人数(名)	220	73	360	141	209	1,003

## 3. 調査方法

chrome book を活用した Googleforms による調査

## 4. 調査内容及び結果・考察

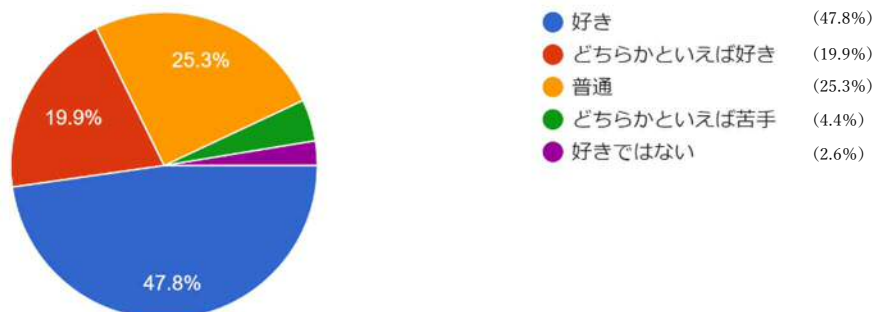
給食は好きですか。 (小学校)

949 件の回答



給食は好きですか。 (中学校)

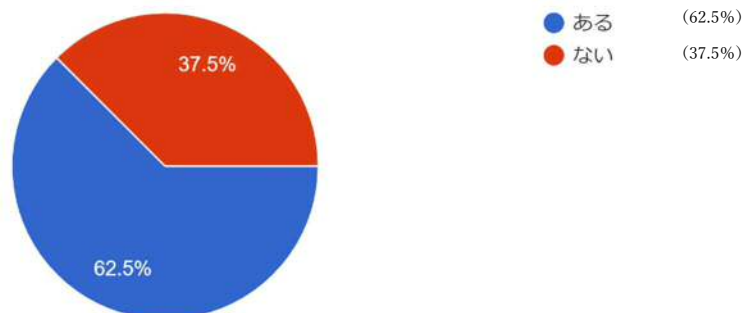
1,003 件の回答



小学生では「好き」「どちらかといえば好き」を合わせると70.9%、中学生では67.7%という結果であった。給食に対して、好意的な印象を持っている児童生徒が多いことがわかった。また、「どちらかといえば苦手」「好きではない」と回答した児童は8.1%、生徒は7.0%であった。少数ではあるが、給食を苦手としている児童生徒もいることがわかった。

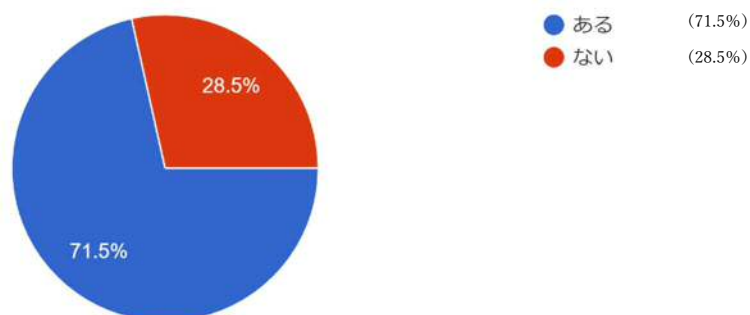
### 給食を残すことはありますか (小学校)

949 件の回答



### 給食を残すことはありますか (中学校)

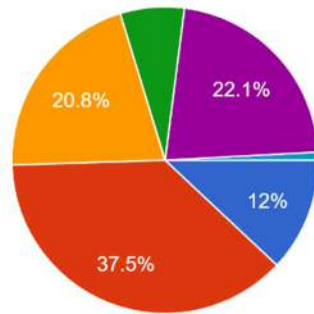
1,003 件の回答



給食を残すことが「ある」と回答した児童は 62.5%、生徒は 71.5%であった。小学生よりも中学生の方が 9%高い結果であった。

給食を残すことが「ある」と答えたひとは、その理由を教えてください。（小学校）

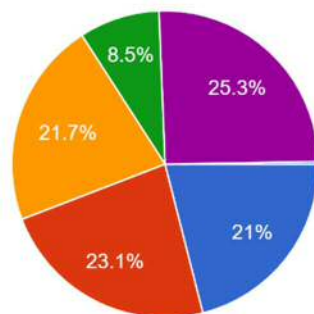
592 件の回答



嫌いだから最初から食べない	(12.0%)
食べてみたけど味が苦手だった	(37.5%)
量が多かったから	(20.8%)
食欲がなかったから	(6.8%)
時間がなかったから	(22.1%)
ダイエットのため	(0.8%)

給食を残すことが「ある」と答えたひとは、その理由を教えてください。（中学校）

718 件の回答



嫌いだから最初から食べない	(21.0%)
食べてみたけど味が苦手だった	(23.1%)
量が多かったから	(21.7%)
食欲がなかったから	(8.5%)
時間がなかったから	(25.3%)
ダイエットのため	(0.3%)

給食を残すことがある理由では、小学生では「食べてみたけど味が苦手だった」と回答した児童が37.5%と一番多かった。小学生は、まだ味覚も発達途中でこれから成長し食べられるようになることもあるため、苦手だと感じても挑戦していくことの大切さを伝えていきたいところである。また、中学生では「時間がなかったから」と回答した生徒が25.3%と一番多い結果であった。給食時間は、限られた時間の中で、準備、喫食、後片付けを行わなくてはならない。喫食時間を10～15分程度は確保できるような配慮が必要ではないかと考える。小学校では、喫食時間を15～20分程度は確保するようにしている。

「嫌いだから最初から食べない」と回答した児童が12%、生徒が21%いたが、給食では苦手な食べ物や料理が出た場合にも、ひとくちは食べるようにとの指導を行っているところではあるが、もっと定着させていく必要があるのではないかとと思われる。ただし、強制することはできない。

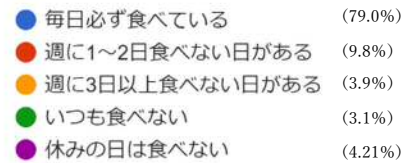
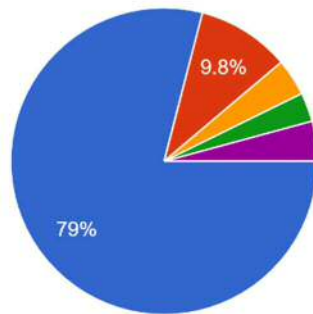
「量が多かったから」と回答した児童は20.8%、生徒は21.7%であった。食べられる量に多少の個人差は考えられるが、給食では、その年齢に応じた必要量を知ることも目的のひとつとしている。必要量を知って、食べられるようになるような働きかけもしていきたい。

「食欲がなかったから」と回答した児童は6.8%、生徒は8.5%であった。その日の体調も関係していることが予想される。

「ダイエットのため」と回答した児童は0.8%、生徒は0.3%と少ない結果であった。成長期にある児童生徒が食事制限をすることの危険性を今後も発信していきたいところである。

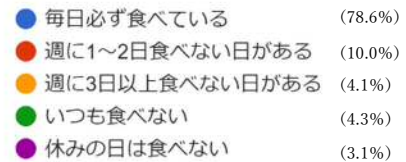
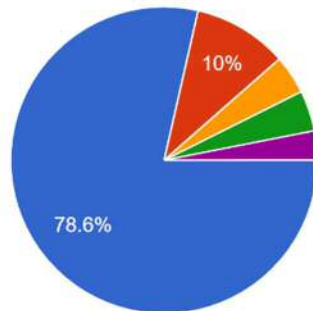
朝ごはんを食べていますか。（小学校）

949 件の回答



朝ごはんを食べていますか。（中学校）

1,003 件の回答

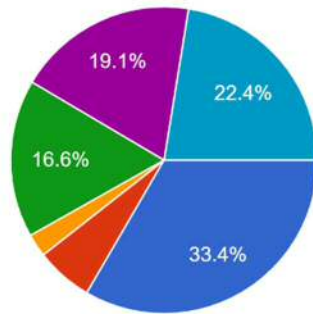


「毎日必ず食べている」と回答した児童は 79%、生徒は 78.6%であった。これは、全国学力・学習状況調査の結果と比べても低い傾向にある。(全国学力・学習状況調査：小学校 84.8%、中学校 79.9%)

また、「いつも食べない」と回答した児童は 3.1%、生徒は 4.3%であった。この結果から、食べないことが習慣化していることが考えられる。朝食の大切さについては、食に関する指導の中でも触れてきているが、家庭の協力も必要である。家庭への働きかけも重要であるとする。

今日の朝ごはんには、何を食べましたか。（小学校）

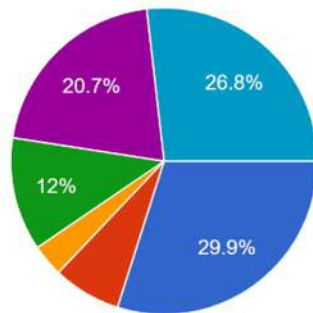
949 件の回答



● 主食だけ	(33.4%)
● 飲みものだけ	(6.0%)
● くだものだけ	(2.4%)
● 主食と汁もの	(16.6%)
● 主食とおかず（主菜のみ）	(19.1%)
● 主食とおかず2品以上（主菜と副菜、汁物、デザートなど）	(22.4%)

今日の朝ごはんには、何を食べましたか。（中学校）

1,003 件の回答



● 主食だけ	(29.9%)
● 飲みものだけ	(7.2%)
● くだものだけ	(3.4%)
● 主食と汁もの	(12.0%)
● 主食とおかず（主菜のみ）	(20.7%)
● 主食とおかず2品以上（主菜と副菜、汁物、デザートなど）	(26.8%)

「主食だけ」と回答した児童は 33.4%、生徒は 29.9%であった。次いで多かった回答が児童生徒ともに「主食とおかず 2 品以上」で、児童で 22.4%、生徒で 26.8%であった。

小学 5 年生を対象とした食に関する指導では、「朝ごはんの大切さを知ろう」をテーマに朝ごはんの大切さや理想の朝ごはんについて考える指導を実施している。朝ごはんの内容についても、児童自ら考えることにより、実生活にも結び付けていけるような指導を今後も大切にしていきたい。中学 3 年生を対象とした食に関する指導においても、「受験期の食事の大切さ」をテーマに、朝ごはんについても触れているところである。

朝ごはんを食べないことがあるひとは、その理由を教えてください。（小学校）

175 件の回答



朝ごはんを食べないことがあるひとは、その理由を教えてください。（中学校）

197 件の回答



「時間がないから」と回答した児童は 45.1%、生徒は 48.2%とともに高かった。起床時刻が遅くなっているのではないかと推測される。また、次いで多かった「食欲がないから」と回答した児童は 39.4%、生徒は 35.5%であった。夕食を食べる時刻が遅いことや、間食や夜食をとっていることも推測される。

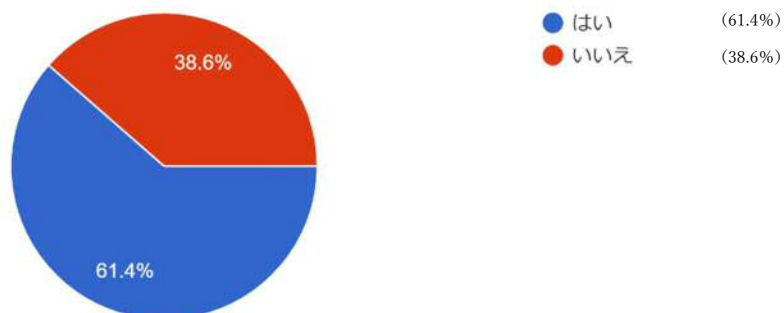
「準備ができていないから」と回答した児童は 2.3%、生徒は 4.1%と低かった。朝ごはんを自分で準備しているという児童生徒も多いことが、この結果となっているのではないかと考える。

一方で「そもそも食べる習慣がないから」と回答した児童が 12.0%、生徒が 10.2%であった。生まれてから 10 数年しか経っていない中で、いつから食べていないのか気になる結果である。これが、乳幼児期からの習慣となっているのであれば、他機関との連携も必要なのではないかと考える。

また、「ダイエットのため」と回答した児童は 1.1%、生徒は 2.0%であった。成長期における食事制限が将来の健康に与える影響についても発信していく必要性も考えられる。

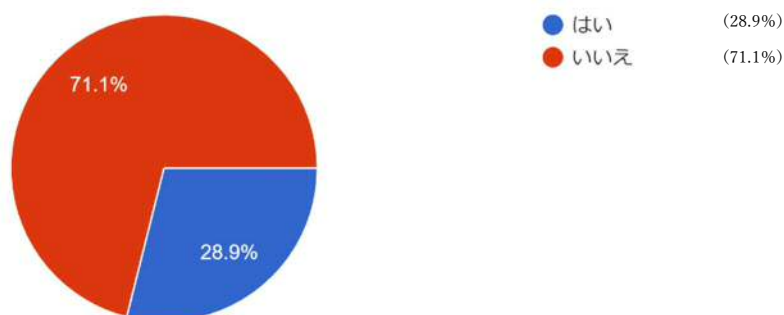
夜は22時までに寝ていますか。（小学校）

949 件の回答



夜は22時までに寝ていますか。（中学校）

1,003 件の回答

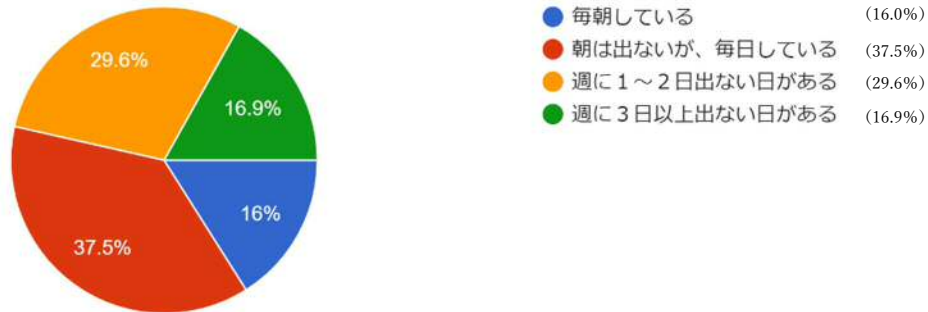


夜22時までに寝ている児童は61.4%、生徒は28.9%であった。小中学生に必要な（望ましい）睡眠時間は、小学生（6～13歳）で9～11時間、中高生（14～17歳）で8～10時間といわれている。朝の時間に余裕を持って過ごすことを考えると、朝6～7時くらいには起床したいところである。そのためには、夜22時までに就寝できるのが理想的である。朝ごはんを食べない理由に「時間がなかったから」と回答していたことも就寝時刻の遅さが影響しているのではないかと考える。



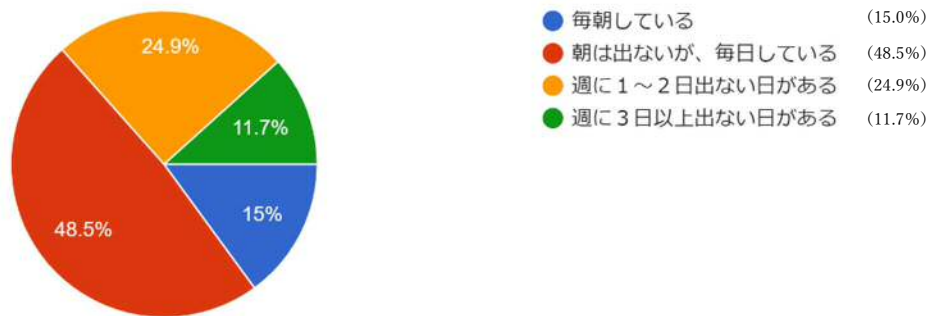
朝、排便はありますか。（うんちはしていますか。）（小学校）

949 件の回答



朝、排便はありますか。（うんちはしていますか。）（中学校）

1,003 件の回答

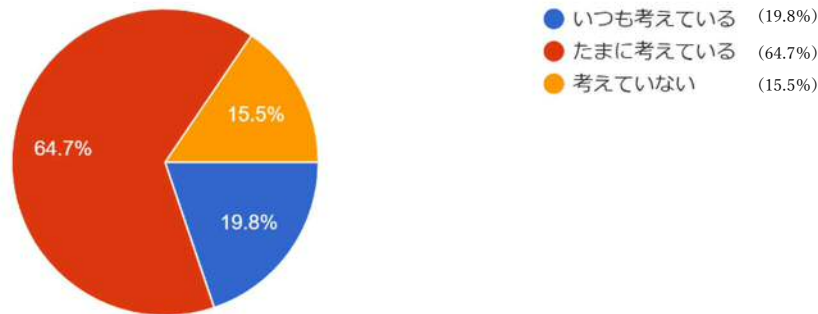


「毎朝している」と回答した児童が16.0%、生徒が15.0%、「朝は出ないが、毎日している」と回答した児童が37.5%、生徒が48.5%という結果であった。一方で「週に3日以上出ない日がある」と回答した児童が16.9%、生徒が11.7%いたことが気になりである。排便習慣は、すぐに改善できることではないため、子どものうちから習慣づけられるようにしておきたいものである。朝の時間に余裕がないことも原因のひとつになっているのではないかと考える。



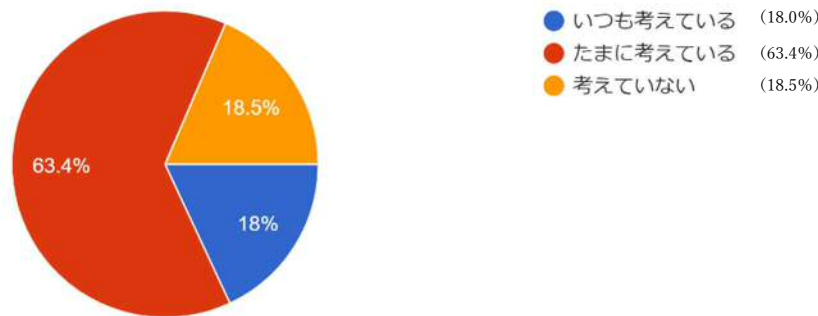
自分のからだや健康のことを考えて食事をしていますか。（小学校）

949 件の回答



自分のからだや健康のことを考えて食事をしていますか。（中学校）

1,003 件の回答



「いつも考えている」と回答した児童が 19.8%、生徒が 18.0%で、「たまに考えている」と回答した児童が 64.7%、生徒が 63.4%で合わせると児童で 85.5%、生徒では 81.5%と比較的高い傾向であった。食に関する指導の時間を自分のからだや健康のことを考える時間として位置づけ、「考えていない」と回答した児童 15.5%、生徒 18.5%の割合を減らしていけるようにしたい。

最後に・・・

今回の調査で、恵庭市内小中学生は、朝ごはんを食べる習慣のついていない児童生徒の割合が、全国調査と比較しても高いことがわかった。その理由の一つとして、就寝時刻が遅いために朝の時間に余裕がなくなっていることが考えられる。「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」習慣は、生活リズムを整える上で重要であると考え。日頃から、児童生徒に向けた食に関する指導に加え、保護者向けお便りの発行など実施してきているが、今後もその取り組みを継続し、他機関とも協力しながら、意識改革をしていけるような働きかけをしていく必要があると考える。